

総務文教常任委員会行政視察報告

総務文教常任委員会では、10月25日・26日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日には愛知県西尾市で「西尾市方式による公共施設再配置」について視察しました。同市では専任組織の設置、職員による計画書の執筆編集、官民連携手法の導入、計画策定プロセスの迅速な公開、映像を使った市民への情報伝達、他自治体および産官学連携の活用など、特徴的な手法により公共施設再配置を進めてきました。中でも官民連携手法は西尾市方式のPFIと呼ばれ全国的にも有名で、市民協働、地域経済、地元企業に配慮した手法がとられています。

翌26日には神奈川県厚木市で「連節バス、自転車ラックバス」について視察しました。厚木市は企業や学校が多く、バスに乗り切れない人も多かったため、新しい公共交通システムとして連節バスが導入されました。運行には道路改良はあまり必要ではなかったようですが、停留所の整備や運行に関して国や警察等、さまざまな機関との調整が必要だったとのことでした。

また、自転車ラックバスはバスの前面に設置されたラックに自転車を簡単に積載できるようにしており、バスと自転車のコラボレーションによる利便性の向上を目指して導入したとのことでした。



厚木市を走る連節バス



西尾市での視察

都市建設常任委員会行政視察報告

都市建設常任委員会では、10月11日・12日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日には、石川県金沢市において、「自転車を活かしたまちづくり」ならびに「無電柱化事業」について視察しました。「まちのり（公共レンタサイクル）」は、街なかに22カ所あるサイクルポート（無人貸出所）を乗り継ぐ方式のため、目的地へ行くだけでなく、その間を寄り道するような仕掛けもあり、観光客の回遊性に寄与しているとの説明を受けました。

翌12日には、富山県高岡市で、「高岡駅周辺整備事業」について視察しました。平成26年度に建て替えられた高岡駅は、バス、タクシーが分離するロータリーを備え、その2階部分に人工デッキを設置し、公共交通機関の乗り継ぎの利便性を図るだけでなく、安全で快適な歩行空間を確保したとのことでした。

また、駅の建て替え期間中も利用者に不便が生じないように工夫しながら駅を稼働させるなどの配慮がなされていました。



高岡駅 広く明るい自由通路



金沢市 サイクルポート

議会運営委員会行政視察報告

議会運営委員会では、10月5日・6日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日には、三重県亀山市の「タブレット端末の導入・活用」について視察しました。タブレット端末の活用方法は、従来、FAXで送っていた通知等を撤廃し、タブレット端末のメール機能に替え、事務連絡等のスピードアップを図り、また、議員活動では、政務活動の一環として行う会派視察への携帯、各種資料の作成、スケジュール管理に活用されていました。今後は、できるものからペーパーレス化を検討するとのことでした。

翌6日には、同県鳥羽市の「タブレット端末の導入・活用および議場設備のICT化対応」について視察しました。タブレット端末の活用方法は亀山市とほぼ同様でした。導入成功のポイントは、スムーズな議会運営を目的とし、「手段を目的化しない」、「使わざるを得ない仕掛けが必要」、「できることから始める」とのことでした。「議場の設備のICT化対応」では、議場モニターにタブレット端末等のデータを表示できるようにし、視聴者にわかりやすい議会中継等の工夫がなされていました。

両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の調査・研究を行いました。



鳥羽市議会での議場モニターの説明



亀山市議会のタブレット